

3・1ピキニデー

友の会会員・職員5名が参加

2月28日、3月1日の2日間、静岡県焼津市での3・1ピキニデー集会和東京フィールドワークに友の会会員2名と尾張健康友会職員3名が参加しました。1日目は東京へ向かい、第5福竜丸展示館、アクティブ・ミュージアム「わたしの戦争と平和資料館」、PTSDの日本兵と家族の交流館を訪問。2日目はピキニ環礁での水爆実験で被災し亡くなった第五福竜丸の船員・久保山愛吉氏の墓参行進と献花、被災72年2026年3・1ピキニデー集会に参加しました。

平和を守る力

医療サービス課

武田 葉乙里

3月1日、JR焼津駅から墓参行進を出発し、久保山愛吉氏墓前祭が行われる弘徳院を目指しました。集会では「平和を守る力は誰もが持っているもの」「日々の気づきや声を上げること、小さな積み重ねが社会を動かす」といった言葉が強く心に残りました。

また「微力だが、無力ではない」という言葉が繰り返し語られ、一人ひとりの行動の大切さを実感しました。マーシャル諸島からのメッセージで



久保山氏の墓前への献花

は、今も残留放射線の脅威があり、故郷に戻れない現状であることが伝えられ、核の問題が現在も続いていることを改めて知りました。

若い世代へ思いをつなぐためにも、学んだことを職場でも共有し、平和について考える機会を広げていきます。

粘り強く声を

介護保険サービス

センター 古畑 夏木

初めて3・1ピキニデーに参加し、原水爆実験の実態や核兵器の恐ろしさを学びました。放射能を浴びた方々は頭痛・吐き気・皮膚に火傷症状が出て、やがて髪の毛が抜ける。マグロも汚染され、また雨にも放射能が含まれ、人的被害、経済的被害を受ける。多くの方々

が不安、悲しみ、怖さの中で過ごしていたかと考えると胸が締めつけられる思いです。世界全体で核兵器の拡散を防ぎ、核軍縮を促進することは、国際社会の平和と安全のためには必要不可欠です。過去を学び現在を見つめ、核兵器のない平和な未来をつくるために「ノーモア爆者、ノーモアWAR」と粘り強く声を上げ、次の世代へバトンをつなげていくことの大切さを考えることができました。

地球はひとつ

岩倉介護保険サービス

センター 黒田 妙子

日本は実戦による唯一の原爆被爆国ですが、核実験を含めると多くの国が被爆しています。そのひとつがピキニ環礁での原水爆実験です。被爆によつて被災者の体はもちろん、家族も含め、周りからの心ない中傷により平常心も失われます。日常生活を送ることができなくなり自殺する人、地元を離れ、身を隠すように過ごしていた人も多くいたそうです。

原爆は、戦争を行う際の兵器のひとつですが、そもそも戦争は必要なのでしょうか？ 力や武力で平和をもたらすことはできません。戦争がなければ兵器も必要ないはず



3・1ピキニデー集会場にて。左から、古畑さん、武田さん、黒田さん、堀さん、川村さん



核兵器廃絶を訴えて



第5福竜丸展示館を見学

子どもたちに

千秋支部

堀 正子

初めての3・1ピキニデーへの参加でした。「PTSDの日本兵と家族の交流館」の様子を中心に

お伝えします。小さな交流館の中は本、資料、新聞の拡大コピーを貼った大きな紙などが天井近くまで所狭しと並んでいました。戦地から戻った父親たちのPTSDの影響は事前に黒井さんの本を読んで理解していたつもりではなかったが、資料や黒井さんの熱い語り

尾張健康友福祉会だより キーページ <http://www.chiaki.com/fukushi>

ひな祭り会を楽しみました

萩原小規模多機能ホームちあき

3月3日にひな祭り会を行いました。地域交流サロン萬葉にて、ひな人形を見ながら喫茶とゲームを楽しみました。

ゲームでは、紙コップのひな人形を利用者の皆さんと協力しながら



おひなさまと一緒に



カップのひな飾りが完成

社会福祉法人尾張健康友福祉会

ケアハウスちあき/地域交流スペース
デイサービスセンター・ちあき
藤が丘デイサービスセンター
介護保険サービスセンターちあき
岩倉小規模多機能ホーム・ちあき
岩倉デイサービスセンター・ちあき
特別養護老人ホーム・ちあき
特別養護老人ホーム・ちあき 第二
萩原小規模多機能ホームちあき
萩原グループホームちあき
電話番号・FAX番号は5面をご覧ください。

未来に向かって

江南支部

川村 弘

2月28日、ともに核兵器保有国のアメリカとイラエルがイランに先制攻撃を加えるという、世界を揺るがす大事件の中で今年のピキニデー集会が行われました。

集会は、この行為が国連憲章・国際法違反であることを確認し、「核の犠牲者を出さない」と願い活動している被爆者をはじめとした参加者はこの蛮行を許さず、直ちに行動をとる決意を固め合います。

と、皆さん談笑しながら楽しまれていました。

喫茶の後、ボランティアさんが紙芝居を披露してくれて、まったりとした時間となりました。

介護福祉士 永井 福子